

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区自治連合会
日吉台学区
まちづくり協議会

発行責任者
林 堅太郎

編集責任者
村澤 真保呂

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書

支所統合に厳しい意見

センター機能あり方住民意見交換会

市主催



日吉台市民センターで開かれる市の住民意見交換会

支所統合などを伴う大津市の市民センター機能あり方検討に関する日吉台学区住民意見交換会が10月21日、日吉台市民センター大会議室で開かれた。日吉台での意見交換会には、市側から小島浩幸市民部政策監、田中鉄也自治協働課長、押栗雅則生涯学習課長ら、学区側は住民約70人出席、住民らから支所統合問題や公民館のあり方、防災面など市が示す市民センター機能のあり方に厳しい意見が相次いだ。

昨年秋、大津市が支所統合や公民館などをコミュニティセンター化する素案を発表。素案では、市内36支所を10支所に統合することなどが含まれていたことなどから市内住民の間で反対意見が続出。市自治連合会を巻き込んだ大きな議論となった。このため、市は、10月初め、市民センター機能の改革案について「住民との間で意見交換を行い、より良い案を作りたい」と見が相次いだ。

意見交換会冒頭、市は厳しい財政環境、市民センターのあり方検討の目的、支所、防災機能の見直し案、公民館のコミュニティセンター化などについて説明した。これに対し住民側から市財政について「説明資料の数値に疑義がある」、支所統合案では「現在市内に36支所があることが誇りで素晴らしいことだ」「防災機能については「改革案だと市民センターに市職員がいなくなり、災害のさい防災対策が機能しない」。また、公民館のコミュニティセンター化では「高齢社会で担い手がない。市案は机上の空論

と新提案、36学区ごとの住民意見交換会を始めて

いる。

豊かな住まいづくりに向け

11月20日午後7時、市民センターで開催

空き家対策第2回勉強会



この勉強会は、一般財団法人「ハウジングアンドコミュニティ財団」から受けた助成金で開かれる事業。「今の家をより住みやすく、かつ資産価値を上げよう」がテーマ。講師は、いずれも日吉台学区の住民でその道の専門家。2回目は、1丁目南在住で土地家屋調査士の中川隆司さんが「不動産

空き家対策委では、この勉強会とは別に12月2日市民センターで、日吉台在住の子育て中のお母さんらが企画したワークショップの開催を予定している。問い合わせは、空き家対策事務局(090150531545)まで。

老々健康講座

自治会ごとに避難場所を集め、安否確認訓練を行い、避難者を学区自主防災訓練会場の日吉台小へ誘導する。そのさい、各自主防災支部長、責任者が防災トランシーバーで、出発時刻、参加者数を本部に状況報告することになっている。

学区老人クラブ連合会は11月15日午後1時半、秋の健康講座「知っておきたい感染症のアレコレ」を開く。講師は洛和会音羽病院の紙谷亨副院長。高齢者は、どんな感染症にかかりやすいのか。分かりやすく説明していただく。

日吉台出身の三日月大造滋賀県知事からこのほど、学区自治連宛に手紙が寄せられた。手紙には、日吉台新聞発行や空き家対策に関することが記され、知事は、公務多忙にもかかわらず常に日吉台学区の動向を気にかけておられる様子がよく読みとれる。知事のメッセージを紙面で紹介する。



三日月大造知事からの手紙

日頃から、県政への格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。「いつも実家がお世話になっております」。

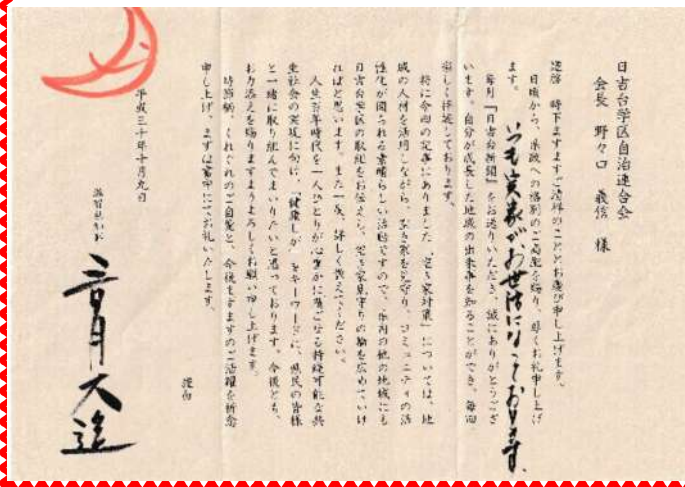
毎月「日吉台新聞」をお送りいただき、誠にありがとうございます。ご自身も成長した地域での出来事を知ることができ、毎回楽しく拝読しております。特に今回の記事にありました「空き家対策」については、地域の人材を活用しながら、空き家を豊かに過ごせる持続可能な共生社会実現に向け「健康しが」をキーワード

時節柄、くれぐれのご自愛と、今後ますますのご活躍を祈念申し上げます。まずは書中にてお礼いたします。 謹白

平成三十年十月九日

滋賀県知事

三日月 大造



玄関灯・門灯 点灯にご協力ください!

- ・ 帰宅時も明るくて安心
- ・ 泥棒に狙われにくい街づくり



電気代は、LED電球(40W電球相当)の場合1か月60円程度、20W蛍光灯の場合1か月140円程度です。

学区防災訓練

11月11日開催

日吉台学区自主防災会(高村克彦会長)は11月11日、学区防災訓練を行う。災害時における住民の安否確認と安全な場所

への避難誘導を図るのが狙い。各丁ごとの地域自主防災訓練と学区民が一同に集まって行う学区自主防災訓練の2部構成訓練は、例年と変わらない。地域自主防災訓練は、各自主防災会(8自治会)が各丁ごとに実施。

自治会ごとに避難場所を集め、安否確認訓練を行い、避難者を学区自主防災訓練会場の日吉台小へ誘導する。そのさい、各自主防災支部長、責任者が防災トランシーバーで、出発時刻、参加者数を本部に状況報告することになっている。

芸術文化の華ひらく日吉台

第4回日吉台コンサート

ソプラノの歌手招き

文化事業部初主催

学区まちづくり協議会文化事業部が主催することになった「第4回日吉台コンサート」が12月2日、午後2時半から、日吉台市民センター大会議室で開かれる。文化、芸術の香り高いまちをめざし開催している日吉台コンサート。今回のコンサートは、国内外で活躍するソプラノ歌手を招いて実施する。



ガプカ奈美さん

出演するのは、東京芸術大を卒業後、ドイツ国立ベルリン芸術大オペラ・

劇場研究科を終了したオペラ歌手で京都女子大教授、ガプカ奈美さん。ヴィンセントベルク歌劇場の専属ソリストとして、歌劇「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテル役でデビュー。ドイツ各地でオペレッタ、歌曲、オラトリオと幅広く歌手活動を行い、国際的に高い評価を受けている。

日の金曜日(は休み)、日吉台商店街にある地域交流の家「あじさいくらぶ」で販売。定員200人。文化事業部では、日吉台コンサートは年2回の開催を予定。開催に協力してもらう実行委メンバーを募っている。問い合わせはコンサートプロデューサーの岡田英治さん(090-1735912812)か、林堅太郎まちづくり協議会長(090-504014309)まで。

学区大運動会開催

得点種目に大声援

日吉台学区民大運動会が10月7日、日吉台小学校グラウンドで開催、参加した学区民らは、秋空のもとグラウンドいっぱい駆け回り気持ちの良い汗をながしていた。写真：台風25号の影響で開催が心配され、運動会前日の準備のさいにも、強い雨に見舞われたが、当日



朝は、絶好の運動会日和。開会式のあと競技最初の得点種目、各丁対抗の玉入れでは、頭上のかごに思うように球が入らず四苦八苦する日ごろ運動不

困ります!そのオシッコ!!
マナーを守りましょう!

犬のトイレは適切な場所です!
※ 犬の散歩の際は、フン尿の処理ができる用器(ビニール袋、水入りペットボトル)をしましょう。
大津市動物愛護センター

第9公園に防災かまどベンチ

ふだんは憩いの場を利用

いざという時に備え日吉台学区1丁目南自治会(北海彰会長)と同自主防災会(村田俊武会長)



第9公園に設置された防災かまどベンチ

は10月中旬、地区内にある第9公園南西側に防災かまどベンチ2基を設置住民に披露した。防災かまどベンチは、長さ1.5m、幅70cm、レンガ5段積みの高さ40cm。かまどの上部に木製のベンチ部分がかぶせて乗せられる。普段は憩いの場所としてベンチとして利用、災害非難場所として

第9号公園は、同地区の避難場所となっているが普段は住民の憩いの場。ベンチがなかったことから北海会長がベンチの設置を検討していたところ、県建設産業団体連合会と県建設業協会が県内各地で防災かまど設置の社会貢献活動をしていることを知り申請、認められ10月中旬、住民約30人がボランティアで出て完成させた。北海会長は「災害に備え、燃料用のたきぎを確保しつつ普段はベンチとして住民に広く利用していただきたい」と話している。

ひよさポ☆ボランティア始まる

ミシン授業サポートでスタート 日吉台小コミュニティ

日吉台小学校コミュニティスクール事業の一つ、地域や父母らが子どもたちの学習支援や活動を支える「ひよさポ☆ボランティア」が始まった。同小コミュニティスクールの運営協議会(濱崎博委員長)と日吉台小(熊川芳彦校長)が今年6月、地域や父母らからボランティア

ア協力者の登録を募り10月からひよさポの一つ「ミシン授業サポート」がスタートした。「ひよさポ☆ボランティア」の活動は「児童教育活動支援」▽「読書環境の整備等」▽「学校行事等の支援」▽「マナ☆ビバの支援」の4種。児童教育活動の支援は、

子どもたちのミシン操作や裁縫の学習活動の補助や音読発表、掛け算の九九練習の聞き手の学習支援。読書環境の整備は、お勧め読書本の紹介、返却された図書を正しい場所に戻す図書整理、傷んだ本の修理や図書委員児童の補助。

行事等の支援は、入学式、卒業式、運動会の準備など。マナ☆ビバの支援は、冒険☆アソビバ、学校で泊まるうき子屋プロジェクトの応援作業などとなっており、ボランティア参加希望者は登録制。支援が必要な場合に学校から出勤依頼がある。取り組のトップとなったミシン授業サポートは、学区から数名のボランティア登録があり、10月4日スタート。5年生18人が家庭科の時間、「ひよさポ☆ボランティア」の指導で、ミシンを使って一生

子どもたち企画

秋のイベント開催へ

日吉台小の子どもたちが考え、企画した秋のイベント「新しい人生を始めるよう☆It's a Party, people!」が11月23日、日吉台小体育館で開かれ

この秋のイベントは、日吉台小、学区まちづくり協議会、学区社会福祉協議会が後援。同小の子どもたち約10人が、イベント内容、タイトルなどを話し合い、考え、計画したユニークな行事。体育館には、子どもたち

ちの人気の「人生ゲーム」を巨大化して再現、参加者たちはプレーヤーとして実際に体を動かしながら人生ゲームに参加するもの。当日は、子どもたちがホットレモネードやタピオカミルクティーなどを手作りし参加者にするまうことになっている。

「ごちそうさま」を宴席で

さんまる いちまる 3010 運動

30 乾燥後、30分は自然で食事を楽しましなす。

10 お開きの前の10分は自然に寝て食べ切りましょう。

食品ロス削減のため、宴席での料理を食べ切る運動にご協力。

ごみ減量と資源再利用推進会議・大津市